



## 子宮頸がんワクチン

子宮頸がんの原因はヒトパピローマウイルスの感染です。20代後半から多くなり、40代以降は横ばいになり、20~30代の若い年齢で増えています。子宮頸がんは20~30代の女性では1番多いがんです。日本では毎年約10,000人も女性が新たに子宮頸がんと診断され、子宮頸がんが原因で約3,000人が亡くなっています。

子宮頸がんがワクチン接種と定期健診により予防できるようになった今、小児へのワクチン接種プログラムはWHOでも勧められており、各国の政府が中心となって世界中でワクチン接種が実施されています。

ワクチン接種によるリスクについては疼痛、腫脹、失神などがあげられます。発生頻度は疼痛が1番多く50%、腫脹は10~50%、失神は不明となっています。生後2か月から開始しているワクチン接種の副反応とさほど変わりはないと言われています。

県立中央病院で行われた職種別アンケートでは医師は積極的に勧めるとし、看護学生自身の80%が接種既往があり、マイナスばかりの報道ではなく効果と副反応の事実を伝え、個人に選ばせるようにしてほしいとしています。

(定接種対象年齢期接種)  
小6~高1 相応の女子  
一定の期間をおいて3回

対象年齢を過ぎると公費で受けられなくなります。気をつけましょう

2018年ノーベル医学生理学賞を受賞した京都大学の本庶佑特別教授は「厚労省からの積極的勧奨から外されて以来、接種率は70%から1%以下になった。世界で日本だけ若い女性の子宮頸がんの罹患率が増えている。一人の女性の人生を考えた場合、これは大きな問題だ。マスコミはワクチンによる被害を強く信じる一部の人の科学的根拠のない主張ばかりを報じてきた。」と述べられました。

6月ごろから百日咳にかかる子供が増えました。息を吸えないぐらいのひどい咳が症状にあります。まれに脳炎や脳症など命に係わる重い症状もあります。初回接種後、免疫力が徐々に低下し4~5歳ごろからかかりやすくなります。国内では乳児の百日咳患者のうち兄、姉からの感染が最も多くなっています。三種混合の任意接種を受けるようにしましょう。

### 百日咳

日	月	火	水	木	金	土
				1	2	3
4	5	6	7	8	9	10
11	12	13	14	15	16	17
18	19	20	21	22	23	24
25	26	27	28	29	30	31

### 8月 休診のお知らせ

8日(木) 14:00~15:30  
15日(木) 盆休  
16日(金) 盆休  
30日(金) 午後休診  
31日(土) 休診

